



Good Wood Communication!

かけがわの森から



FSC 森林認証取得へのあゆみ

11月中旬、FSC 森林認証機関による認証の本審査が控えています。そこでこれまでの認証取得に向けた動きを振り返ってみたいと思います。

●8月9日 遠州森林認証グループ設立

県・掛川森組・森町森組3者での認証グループを設立。森掛川広域で認証取得を目指す。



グループ設立総会の様子

組合長意気込みを語る

●9月6日7日 予備審査受験

FSC 森林認証機関の審査員が予備審査に来ました。2日間にわたり両組合の森林管理の現状をチェック！審査の結果は「管理に重大な不適合」は無いとのことで、少しホッとする。

それでも本審査までに整備すべき書類や現場施業の注意事項について指摘をいただく。



今の森林管理の状況はこんな風で・・・

●9月28日 現場技術者社内勉強会

●10月14日 現場技術者合同勉強会

ホッとしたのも束の間。現場技術者へ今後の森林施業の注意点について森掛川合同勉強会を実施。FSCの施業は生物多様性にも配慮する必要があることから、森掛川の森林に生息する希少生物の種類や保護の方針についても学ぶ。



みんな真剣な眼差し！

●10月31日 遠州森林認証グループ総会

グループメンバーに市町が加わりました。そしていよいよ・・・

◎11月16日-18日 本審査

ただいま準備中です！！



↑ 新事務所に使用される木質パネル「W-ALC ウッドエーエルシー」の加工状況 (掛川産材を製材・乾燥し、長野県で接着加工)

戦後植えられた木は熟し、そして、新たな森林管理の仕組みを作る機は熟しつつある。

偶然だろうか、森林組合の新事務所は新国立競技場とほぼ同時に設計がなされ、ほぼ同時に着工する。新事務所は、未来の森林・林業の仕事を支えていく基地として、若い職員がやりがいを持って働ける場として、そして、森林林業の情報発信基地として、地域の憩いの場として、末長く存在していかななくてはならない。職員は、そこで大きな目標をもって職務に取り組む必要がある。

リオ・オリンピックパラリンピックが終わり、いよいよ4年後は日本での開催となる。その中心地となる新国立競技場の設計施工は、やり直しコンペの結果、大成建設、梓設計、隈研吾建築都市設計事務所のジョイントベンチャーに決まった。20年前から木の建築に取り組んでいるという隈研吾氏の木の建築が2020年オリンピック・パラリンピックの中心となる。

隈研吾氏は最近の著書で「時代はコンクリートから木へ変化している。木の成熟は日本の成熟」と述べている。実際に身の回りでも様々な公共建築に木が使われるようになってきた。草薙体育館「このはなアリーナ」や、県の特別支援学校、浜松の信用金庫さんがその例だ。今、木の建築が改めて見直されている。木材の防腐技術・耐火技術の向上もこれを後押ししている。

「木」は熟し、「機」は熟しつつある

森林・林業サイドも、今後は木の建築に貢献できる森づくりを改めて考え、実践していく必要がある。循環資源として永く社会に安定的に森林の恩恵(木材資源・水資源・保健・文化)を届け続けることが求められる。

第55回通常総会が終了 ～榛村組合長3年1任期を終え、再任～

8月26日に第55回通常総会が開催されました。多くの組合員の出席のもと、全ての議案が可決・承認され、役員任期満了に伴う改選も無事終了しました。議事後には出資証券の廃止、新事務所建設計画の経過、FSC森林認証の取得について説明が行われました。



組合員から「新事務所が林業振興や地域振興の拠点となってほしい」との期待の言葉をいただきました。組合員あつての森林組合です。役員一同このことを忘れず、今後も日々の職務に取り組んで参ります。

9月1日をもって 出資証券を廃止いたしました

総会でお伝えしました通り、当組合の出資証券は9月1日に廃止となり、これに代わる出資金残高証明書を発行しました。

出資金残高並びに組合員としての権利等につきましては、これまでと変わりありませんのでご安心ください。



出資証券



出資金残高証明書



榛村航一組合長の 元気もりもり (森・森) 通信 第10回

〜 組合長の期日に思ひこ〜

去る8月26日、多くの組合員の皆様のご出席のもと開催された第55回通常総会にて、私を組合長として再任していただきまして誠にありがとうございました。林業に関して右も左もわからなかった私が3年の任期を全うできたのは、ひとえに組合員さんをはじめ、関係機関の皆様のご理解と、組合職員の協力のお陰だと思っております。この場をかりて深く御礼申し上げます。皆様へのご恩に報いていくべく、再任された今、2期目を迎えるの思いを述べさせていただきます。



新聞でも報道されたのでご存知だと思いますが、静岡県、掛川市、森町、森町森林組合、掛川市森林組合の5団体共同でJFSの認証管理団体を立ち上げ、11月中旬にはJFSの森林認証最終審査を受けることになっており、遅くとも来年には承認されると思います。今後は違法・不

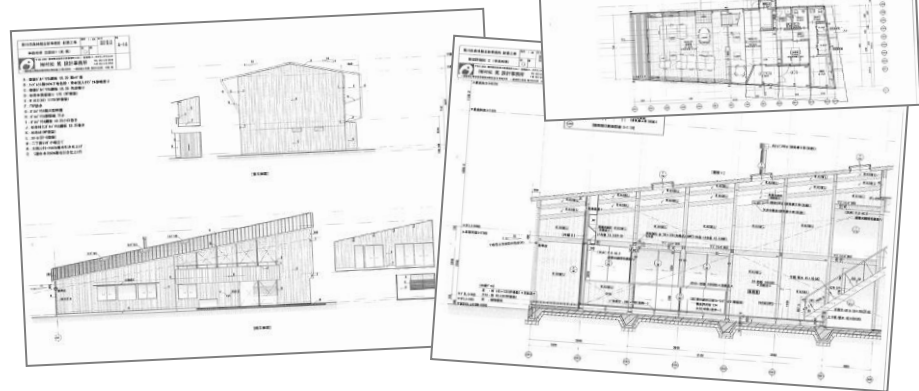
適切な伐採を無くし、環境・社会・経済に配慮した国際レベルの森林管理が求められます。当組合におきましては森林管理のレベルを国際基準に引き上げていくことはもちろんですが、そこから産出されたものをJFSの森林認証材として2020年の東京オリンピック・パラリンピック関連施設に供給していただけるようにすると共に、広く掛川市内の公共建築物、一般住宅にも使われていくよう提案して参りたいと思っております。またFSC認証取得により他業種団体との連携が可能となり新たなビジネス展開が可能になると思っております。雇用創出を含め中山間地域の活性化にもつなげていけるのではないかと考えております。

そして、来年春ころには新事務所が完成します。今まで培われてきた掛川市森林組合53年の歴史・技術力をもって、新事務所を拠点に新たな船出を力強く進めてまいりますので、今後とも皆様のご理解・ご協力の程、宜しくお願致します。

新事務所 設計業務を終えて 新事務所建設委員会

新事務所建設計画は、1年にも及んだ設計業務がようやく終わりました。地域に根ざす協同組合として、この地にどんな建物を建設すべきか？ 建設委員会のメンバー皆で考え続けた1年でした。

「組合員や地域の方が気軽に立ち寄れるように」「森林林業の情報発信基地に」「事務所は雨風しのげればいいのでは？ いやいや、木のオフィスのイメージリーダーとしてあるべきだ」「職員の使い勝手は？」「規模は？」「予算は？」「工期は？」 議論は行ったり来たりを繰り返して、時には頭を抱えることもありましたが、それでもなんとかひとつの形にたどり着き、最後には本当に素晴らしい設計案が出来上がったと思っております。



設計業務を進めていただいた村松篤設計事務所さん、サポートやアドバイスをいただいた皆様に、心より感謝を申し上げます。

11月上旬、入札により工業者が決定し、来年春の完成に向けて、いよいよ工事が始まります。みなさまご期待ください！

今回は・・・佐藤職員の みる・きく・あるく

9月頭、掛川市内にある守屋材木店の製材工場に行った。工場では朝早くから黙々と丸太を挽く守屋社長の姿があった。



掛川の森で育った木々が新事務所の一部となるべく、その姿を変えていく

まるで自分の腕のように機械を扱う職人の眼差しは鋭い。丸太の微妙な曲がり具合からどのように挽くのが“ベスト”なのかを瞬時に判断し、実行するからだ。

こうした一連の動作をある程度できるようになるまでに5年の歳月を費やしたという。私はこの職人の仕事に対する姿勢に、かっこいいと感じた。

一方で、こうした地域の製材所が年々減っていることも教えていただいた。先人たちから受け継いできた技術は残念ながら途絶えていく一方だという。

私たち川上側がいくら山を守り育てていこうとも、それを活かしていくためには製材所をはじめとした川中・下側がなくてはならない。新事務所の建設には、掛川の森林の木々(素材)、地元製材所や工務店(技術)、それらを取り巻く人と人の繋がりが総動員されている。新事務所建設がこうした地域の“財”を活かすことの発信にもなればと願う。

購買担当「藍ちゃん」の“これいい!”

オススメGOODS!!

剪定鋸 (替刃式) ¥2,551-

長時間の作業でも疲れにくい超軽量パワーグリップ採用で、作業効率アップ!! スムーズな切り始めで、パワフルな切断力を発揮します。替刃式なので、長くご愛用いただけます。※替刃(別売) ¥1,543-



組合員さまへのごお願い

相続等で所有山林に移動(相続・取得・売却)が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと ここ何年か、掛川の間伐現場から菊川のある地区に秋祭りの屋台を飾りつけるための、杉の葉を提供させていただいています。今年も綺麗に飾り付けをした写真を送っていただきました。掛川の杉の葉もこのように役立って、きっと喜んでくれていると思います!

